

お薬と上手に付き合うために

お薬は健康をサポートしてくれる大切な存在です。しかし、複数の医療機関にかかることで、お薬の数が増えてくると、お薬による副作用のリスクが高まることがわかっています。飲み間違いや副作用を防ぎ、より安心して治療を続けるために、以下の3つのポイントを参考に、お薬と上手に付き合しましょう。

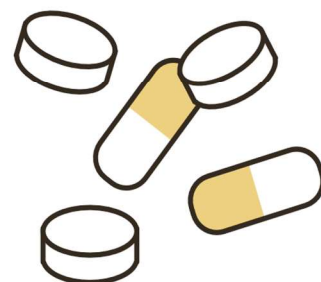
01 お薬手帳は1冊にまとめましょう

お薬手帳を1つにまとめておくことで、お薬が処方されたときに飲み合わせが悪いものがないかなどを薬剤師に確認してもらうことができます。



02 用法・用量を守りましょう

お薬は適切な服用が重要です。自己判断でお薬の量を増やしたり、飲むことをやめたりは決してせず、まず医師や薬剤師に相談しましょう。



03 かかりつけ薬局を決めておきましょう

お薬に対する不安や疑問を気軽に相談できる「かかりつけ薬局」を持ちましょう。いつもご利用されている薬局やお近くの薬局など、通いやすい薬局にすると安心です。



〒

銚子市役所 市民課 保険年金室
〒288-8601 千葉県銚子市若宮町1-1

本通知書に関するお問い合わせ

※サポートデスクは、株式会社メディラートに委託しています。
問い合わせ先：0120-011-589
受付時間：平日10時00分～17時00分
開設期間：2025年10月末まで
※本通知書の送付を今後希望されない方は、お手数ですが、上記問い合わせ先までご連絡ください。
※お電話の際は左記に記載されている管理番号をお伝えください。
※左記住所はこの通知作成時点の住所（送付先）です。

管理番号

多くの種類のお薬を服用されているため、見直しのきっかけとしてこの通知をお送りしました。

このお知らせを今通っている医療機関または薬局へお持ちください

この通知書には、あなたの服薬状況が記載されています。

複数の医療機関で多くのお薬が処方されると、同じ成分の薬が重なったり、飲み合わせに問題が生じたりすることがあります。それらを防ぎ、

あなたの健康を守るため、まずは、今通っている医療機関または薬局へこのお知らせをもって、ご相談ください。



あなたの通院とお薬の状況

2025年1月～2025年6月時点

 処方されたお薬の種類 6種類以上のお薬を服用すると、お薬による副作用のリスクが高まります

1月	種類	2月	種類	3月	種類
4月	種類	5月	種類	6月	種類

 ジェネリック医薬品へ変更した場合

最大で

円

あなたの負担額が軽減される可能性があります。

詳細は中面をご確認ください。

服薬情報のお知らせ

医療機関・薬局の皆様へ

このお知らせには、2025 年 1 月から 2025 年 6 月診療分のレセプトデータに基づき、患者様が現在服用されていると想定される薬剤情報が記載されています。内容をご確認いただき、必要があれば患者様への服薬指導等にご活用いただけましたら幸いです。

[illegible]

「同じ効能」:同じアルファベットが表示されているお薬は、複数の医療機関から処方された同じ成分のお薬です。

「飲み合わせの悪い薬剤」:同じカタカナが表示されているお薬は、一緒に飲むとお薬同士の飲み合わせが悪いお薬です。

※最大削減金額とは、処方されたお薬にジェネリック医薬品が存在する場合に、最も価格の低いジェネリック医薬品に変更した場合の差額を提示しています。実際に変更した場合の金額とは異なる場合がございます。金額は目安としてご利用ください。

※全部のお薬を表記できない場合は、同じ成分のお薬が削減金額が発生しているお薬を優先して表記しています。

医療機関・薬局の記載欄（処方再検討の結果などを記載して患者にお渡しください）